令和８年度　学校経営のグランドデザイン

昭和５３年４月創立（創立４９周年）　鹿児島市立桜丘西小学校

鹿児島市教育振興基本計画に基づく市教育行政の方向性

1　規範意識や自他の生命を尊重する心、困難を乗り越えながら物事を成し遂げる力、自ら考え判断し、行動する力等の育成（心を育む教育と青少年教育の推進）
2　個性と能力を伸ばす教育の推進（学習指導等、各種教育の充実）
3　運動・スポーツに親しむ機会の充実、健康・安全の充実（健康・食育・安全・防災）
4　地域との連携・協働と教育施設の充実（地域とともにある学校づくり）
5　家庭や地域の教育力の向上と生涯学習環境の充実（家庭教育・生涯学習活動の充実）
6　文化芸術の振興と歴史・文化資源の保持と活用（親しむ機会の充実）

国や社会の要請から

1　国の施策，学習習指導要領から
・「学びに向かう人間性」「思考力、判断力、表現力」「知識、技能」
・ＧＩＧＡスクール構想　・プログラミング教育
2　社会の動向や要請から
・人生 100 年時代　・国際人育成のための英語教育の推進
・一人一台端末の利活用　・Society5.0 を見据えた人材づくり
・共生社会づくりを目指す人権教育推進とインクルーシブ教育
3　中教審提言を踏まえた新しい学校スタイルの確立

児童の実態，保護者の願いから

1　全国学力・学習状況調査、鹿児島学力・学習状況調査等による学習課題の把握
2　自分の気持ちや考えをもち、表現することができる児童
3　夢や希望をもち、自己実現にむけて粘り強く努力することができる児童
4　心も体も、自他ともに大切にできる児童
5　子どもが『ワクワク登校　ニコニコ下校』できる学校
6　いじめや仲間はずれのない楽しい学校
7　児童が自己肯定感を高めることができる学校や家庭

めざす子どもの姿

1 よく学び、粘り強く考え、自分の考えを表現できる子ども
2 優しく思いやりの心をもち、相手の立場になって考え、行動できる子ども
3 何ごとにも積極的に挑戦し進んで体を鍛える子ども
4 命の大切さを理解し、自他ともに認め合う子ども

学校教育目標

心豊かで，自主性・創造性に富み，夢に向かって
たくましく生きる力を身に付けた子どもの育成

校訓
よく考える子（思考力・判断力・表現力の育成）
思いやりのある子（豊かな情操と人権感覚の醸成）
ねばり強い子（最後まであきらめず継続して努力する）
元気な子（心も体も健康で安全に気をつけて生活できる）

めざす学校の姿

1　子どもの将来を見据え、確実な学力を身に付ける指導に取り組む学校
2　人権を尊重し、一人一人を大切にできる学校
3　子どもが自己有用感を感じることができる学校
4　安全で安心して勉強できる学校
5　地域や保護者に信頼され、共に歩む学校
6　働きがいのあるプロ意識の高い集団
「チーム桜丘西」
7　教師の働き方を見直し、変化していく学校
「質を落とさず量を減らす」

めざす教職員の姿

1　子どもに寄り添い共に学ぶ教職員
2　研修に努め、分かる、楽しむ授業に全力を尽くす教師
3　ＩＣＴを積極的に活用する教師
4　組織体の一員として自覚し、協働する教職員
5　児童、保護者、地域社会に信頼される教職員
6　働き方を見直し、工夫に取り組む教職員

令和８年度の重点目標

- 学びの質の向上（「子どもに考えさせる授業」）
指導方法の改善、学習の躾の徹底、家庭学習の充実
- タブレット活用の充実（Web問題等による応用力育成）
- 心の教育の充実（「MOM」の気持ちで子どもに接する）
人権尊重の学校づくり、特別支援教育の充実、挨拶運動の継続、いじめ・不登校課題への迅速・丁寧な対応、情報モラル教育の充実、読書活動の充実（年間１００冊／人）、「学校楽しいーと」の活用、保護者と取り組む生活習慣の確立とメディアコントロール
- 健康・安全教育の充実（命を大切にできる児童の育成）
年間を通した感染症対策の充実、自己管理能力の育成、交通安全指導・防犯指導の徹底、一学校一運動（縄跳び）
環境教育の充実（整理整頓、一人一鉢）
- 清掃活動の徹底、学校美化緑化・花いっぱい運動の推進

社会に開かれた学校

1　学校運営の説明責任を果たす学校づくり
・　学校運営協議会をはじめとする各種委員会（信頼される学校づくり委員会等）の取組の充実
・　社会への情報発信…県民週間の公開授業、校区コミュニティ協議会やあいご会活動への参加推進、学校便りの地域回覧、ホームページの更新、校区コミュニティ協議会への参画
2　各種団体・機関と連携した学校運営
・　児童クラブや放課後児童教室、放課後デイサービス団体、県療育センター等の教育支援機関
・　警察（交番）、民生委員（児童委員）の会

校内研修の充実

1　研究テーマ
「共に認め合い、関わり合う心豊かな児童の育成」
～ 自己を見つめ、みんなで深め合う道徳の授業を中心に ～

2　研究の仮説
（１）児童が問題意識をもち、自己を見つめる手立てを工夫すれば、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深められるのではないか。
（２）一面的な見方から、多面的・多角的な見方に発展させる指導の手立てを工夫すれば、共に認め合い、関わり合う児童を育成できるのではないか。

3　専門研修
人権教育、服務、生徒指導、特別支援教育、ICT利活用、保健・安全指導、絵画指導など、年間を通して専門研修を実施する。

特色ある教育活動

1　一学校一改革「明るい笑顔と元気なあいさつ」
2　朝のボランティア活動の充実
3　読み聞かせ会や親子読書活動（23日親子読書の日）